

美点凝視

第 11 号
H22. 11
狭山台小学校
学校だより

お話朝会から(十一月)

今月の生活目標は「たくさん本を読もう」です。そして、明日の十月二十七日から十一月九日までの2週間は、「読書週間」です。

今日は、読書について話します。皆さんは、4月から読書に親しんでいます。

毎週月・水・金と朝読書で読書に親しんでいます。金曜日には、読み聞か

せボランティアの方々が、本を読んでくださっています。

読書は、普段の生活では経験できない、いろいろな経験ができます。うれしい、楽しい、悲しいなどのいろいろな感情を味わうこともできます。また、新しい知識を身に着けることもできます。

読書は、とても素晴らしいことです。小さい時のことを思い起こしてみま

幼児から小学校低学年のころは、寝る前に父に昔話をしてもらったことや囲炉裏端で祖母に抱っこしてもらいながら、童話を読んでもらったことを思い出します。語り口や本の挿絵まで昨日のこのように思い出すことができます。

小学校の生活に慣れ、友達ができてくると、読書をするよりも野球をしたり、野山を駆け回ったりするほうが楽しくなりました。

本を借りても外遊びに夢中になると、最後まで読み切らないうちに返却日になってしまいうことが多かったと思います。

そんな時出合ったのが、「シャーロックホームズ」です。これは夢中になりました。推理小説ですから、最後まで読まないで犯人が分かりません。最後まで読み進んで、初めて読書の面白さが分かりました。

その後は、「シャーロックホームズの冒険」や「怪盗ルパン」などの推理小説を中心に読みました。面白いと、そのシリーズや作家のすべての作品を読みたいという気持ちになり、図書館にあるほとんどの本を読みました。

今でも、気に入った作家の本は、全部読みたいと思います。

今読んでいるのは、司馬遼太郎の「竜馬が行く」です。これも、面白いです。皆さんもどんどん読書をしてください。最後までじっくりと読み進むと、その本の面白さが分かります。

「どんな本を読めばいいのかな」と悩む人は、皆さんに配布されている「狭山の百冊」を参考にするのもいいと思います。

図書室には一万七百四十五冊の本があります。これからも、新しい本をど

さやまっ子教育の日の学校公開には、台風で大変足下の悪い中、延べの参観者が千人を超えるという多くの皆様に足を運んでいただき、ありがとうございます。

学校教育への関心の高さを改めて考えさせられ、がんばらなければという気持ちを多く職員が抱いたのではないかと思っています。

今年度はどのような内容の公開をしようかと職員会議で話し合いました。その結果、年間の行事を考えて、時間をかけて考えた方が良いという結論になりました。

従って、今年は、通常の授業に必ず道徳を入れて公開しました。

如何だったでしょうか。何か要望がありましたら、学級懇談会の際にでも出していただければと思います。よろしく願います。

どんどん増やしますので、読みたい本が見つかると思います。

「読書週間」です。ゲームを休んで、読書に親しみましょう。

五年生がんばりました

十月二十八日(木)に行われた就学時健康診断で、就学児の案内をしたり、検査の手伝いをしたりと、五年生ががんばりました。

おかげで、大きな混乱がなく、スムーズに進行し、予定より早く検診を終えることができました。

就学児の手を引き、やさしく接してくれている姿を見ると、たくましさを感じることができました。

来年は頼れる最上級生として、学校をリードしてくれそうです。

11月行事予定

日	曜	行 事 予 定	日	曜	行 事 予 定
1	月	振替休業日	17	水	特短4、狭山市教育研究会全員研修会
2	火		18	木	一斉除草、落ち葉掃き
3	水	文化の日	19	金	特別支援学級学習発表会(狭山市市民会館)
4	木	特日課6、委員会、開校式リハーサル(2校時)	20	土	狭山台中学校バザー
5	金	開校記念日、開校記念式	21	日	農業祭、ふれあい音楽祭(狭山台小)
6	土	台っ子わんぱく広場 10:00 狭山台小体育館	22	月	
7	日		23	火	勤労感謝の日
8	月	学年レク(1年)、修学旅行(日光方面)	24	水	学年レク(2年)
9	火	弁当の日、学年レク(35年)、修学旅行(日光方面)	25	木	賞状伝達朝会、生徒指導部会
10	水	市内音楽会(4年)、交通安全教室、学年レク(1年)	26	金	
11	木	交通安全教室、学年レク(1年)	27	土	
12	金	5年社会科見学(ホンダ)	28	日	
13	土		29	月	
14	日	県民の日、狭山市綱引き大会	30	火	授業参観・懇談会(1~3年)
15	月		1	水	授業参観・懇談会(4~6年、けやき)
16	火	児童朝会(福祉委員会)、歯科保健指導(3年けやき)	2	木	

開校式の言葉

木々の葉が色づき、秋の深まりを感じる今日。仲川市長様、小谷野副議長様、吉川教育委員長様をはじめ、ご来賓の皆様のご臨席を賜り、児童・職員が一堂に会し、ここに「狭山市立狭山台小学校開校式典」を開催できますことは、校長としてこの上ない喜びでございます。

本校は、狭山台地区の二つの小学校が一つになり、新しい校章と校歌をいただき、スタートいたしました。

どちらの小学校も、特色ある学校づくりに励み、地域の皆様から愛される小学校として三十五年あまりの歴史を刻んできた学校でございます。

その学校を閉じ、新たな学校を創るということは、狭山市及び狭山市教育委員会のご英断と、狭山台地区の皆様のご理解とご協力がなくてはできなかったことでございます。

本校の校歌に「ふたつの歴史うけついで、友よ大きくはばたこう」という歌詞がございます。この気持ちを大切にし、新たな学校づくりを進めてまいります。

本校の開校に携われた皆様のご期待に応えられるよう、家庭・地域・学校が連携をより深め、地域の皆様から統合して良かったと心から言っていただけのような学校づくりに邁進していく所存でございます。

さて、狭山台小学校の「良さ」を話したいと思います。

本校は、学校教育目標である「やさしく・かしこく・たくましく」の具現化のため、「美点凝視」を合い言葉に「自分の良さに気づき、伸ばすことが

できる学校」を目指して、日々の教育活動を展開しているところでございます。

その結果、

「やさしく」という目標では、気持ちのよい挨拶ができる学校になりつつあります。「おはようございます」「さようなら」など、元気のよい、明るい挨拶の言葉が交わされています。

「かしこく」では、児童が、教師の話を真剣に聴き、自分の考えを発表する姿が多く見られるようになってまいりました。

「たくましく」では、最後まで諦めず、全力で課題に立ち向かう児童が増えてまいりました。

そのほか、特筆すべき良さは、地域の方々のご協力でございます。学習支援ボランティア、読み聞かせボランティア、図書ボランティア、園芸ボランティア、安全見守りボランティアなど、多くの地域の皆様にボランティアとして学校を応援していただいております。

これらの狭山台小学校の良さを土台とし、今後さらに狭山台小学校が発展できるよう、職員一同心を一つにして日々の教育活動を行っていくことをここに誓いいたします。

言葉を結ぶにあたり、本日、公私ともに大変お忙しい中、ご臨席賜りました皆様方に、これまで同様、ご支援・ご協力をいただきますようお願い申し上げます。本日の式辞といたします。

子ども安全見守り講座

学校公開日に「子ども安全見守り講座」が行われました。

この講座では、県から「ネットアド

バイザー」として認定を受けた二名の先生から「携帯電話の危険から子どもを守る」という内容で話をしていたいただきました。

携帯電話の怖さは、いつでも、どこでも使え、保護者の目の届かないところで使用することができると言うことです。

この危険から子どもを守るためには、ホワイトリスト方式のフィルタリングを掛けることだそうです。

ペアレントコントロールができない場合は、携帯電話を持たせないことが、子どもを危険から守る唯一の方法だと思います。



狭山台小学校開校式会場

公園にゲームを持って行き、自転車のかごに入れておいて、紛失してしまつたということがあり、学校だよりも注意を呼びかけたのを覚えていてほしいか。

そもそも、高価で大切な物を自己管理が難しい場所に持って行つてはいけな

いというところが理解できていない結果です。お金についても注意が必要です。買い物は、保護者と一緒にするということ

が原則かと思っています。駄菓子を買う程度の小銭をお小遣いとして持たせることはあるかも知れませ

んが、必要以上に高額のお金を持ち歩くことは、危険が伴います。お金は、労働の対価として、大人が汗を流して働いた結果、得られる物です。

お金の大切さを学年にに応じて、親子でじっくりと話し合うことも大切なことだと思っています。その結果、お金や物を大切にすることを心から生まれてくるのだと思

けがに注意

「今日は、けが人が出なければいいね」

これは、毎日のように交わされる養護教諭との会話です。

と言っているそばから、

「先生転んで膝をすりむきました。」と言う子が友達に付き添われて保健室に入ってきます。

このごろ多いのは、階段でつまずいて転んだという訴えです。ふつうに歩いていけば、そんなにつまずくことはないだろうと思うのですが、気になつて、校舎内のすべての階段を見てみました。

これは直さないと危険だという箇所は見あたりません。やはり、

「落ち着いて」

が一番の解決策のようです。そのほかにも、落ち着いて行動すれば防げる

けが多いようです。

痛い思いをする子がいなくなるようにしたいものです。
